

クリニカルパス通信

クリニカルパスとは？



クリニカルパス

1985年に米国のKaren Zanderによって開発され1995年頃より日本に導入されました。

日本クリニカルパス学会によると「患者状態と診療行為の目標、および評価・記録を含む標準診療計画であり、標準からの偏位を分析することで医療の質を改善する手法」と定義されます。

パスのメリットは？

病院・医療従事者のメリットは、医療が標準化される、チーム医療が推進される、教育ツールとして仕様できる、病院経営も改善されるなどが言われています。患者・家族にとっては入院中の経過や治療内容がわかりやすく安心感して入院生活を送ることができることなどがあります。

新パス紹介

去る2月、3月のパス委員会にて新しく7個のパスが承認されました！

1. マムシ咬傷（外科・呼吸器外科）
2. 上腹部痛（外科・呼吸器外科）
3. 糞便性腸閉塞（外科・呼吸器外科）
4. 自然気胸（外科・呼吸器外科）
5. 肝性脳症（外科・呼吸器外科）
6. 肝性腹水サムスカ導入（外科・呼吸器外科）
7. 子宮内膜除去術（産婦人科）

2017年度年間パス適用数最終ランキング発表！

2017年度パス適用数第一位は僅差で「フォローアップ心カテ手首用（循環器内科）」でした。おめでとうございます！ちなみに年間適用率は18.1%でした。



2017年度年間パス適用数ランキング！

第1位：フォローアップ心カテ手首用（循環器内科）	104
第2位：軽症外傷（外科・呼吸器外科）	101
第3位：腸閉塞（外科・呼吸器外科）	59
第4位：白内障手術2泊3日（眼科）	52
第5位：大腸ポリープ切除パス（外科・呼吸器外科）	52
第6位：ERCP/EST（外科・呼吸器外科）	49
第7位：腹腔鏡下胆嚢摘出術（前日入院）	42
第8位：白内障手術3泊4日（眼科）	41



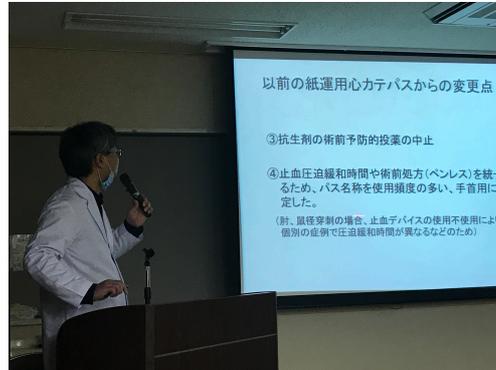


現在運用中のパスは**127個**

外科・呼吸器外科	82
形成外科	15
眼科	5
婦人科	6
内科	2
整形外科	2
脳神経外科	2
泌尿器科	2
小児科	5
循環器内科	1
看護科	5

平成29年度第2回ミニパス大会

「第2回ミニパス大会」が3月1日に開催され総計49名の皆様の参加がありました。今回は年間パス適用数第一位！のフォローアップ心カテパスに関して2演題に加えパス学会報告が行われました。



1. 「フォローアップ心カテ（手首用）パスの検討」
循環器内科 小住清志
2. 「パスを導入して」
西6階病棟 勝元美佳
3. 「第18回日本クリニカルパス学術集会参加報告」
西3階病棟 立石美枝子

【2018年1～3月パス適用率】

平成29年度パス適用率：18.1%

